

# 学 校 便 り

滑川市立西部小学校 H28. 11. 30

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花 楽しくあいさつができる子  
ほかほか花 「あったか言葉」をつかう子  
きらりん花 キラキラと自分らしく輝く子

## 任せれば、任せただけのものが

(写真は本文とは関係ありません)

次男夫婦が毎週金曜日に夕食を食べにきます。その折に、次男が好きなお菓子を嬉しそうに頬張っているのを見て、帰り際に残りをもっていくように言いました。すると嫁の手前もあったのでしょうか。とげとげした抗議口調で「もう子供じゃない」と言い放ちました。親はいつまでたっても我が子を子供扱いし、守ってやらなければならない存在だと勘違いし続けるものようです。

同じようなことを先月に実施された就学時健康診断において感じていました。今年度から入学予定児童のお世話係を6年生から5年生の子供たちに変更することになりました。なぜなら小学校入学後も1年生と6年生としてその関係が続くからです。思い切ってそうはしたものの、内心「5年生の子供たちで大丈夫かな」という不安がどの職員にもあったことでしょう。しかし、実際の5年生の動きを見ると、その心配を吹き飛ばしてあまりあるものがありました。ある来入児の子がトイレに行きたい素振りを見せると「トイレはすぐそこにあるよ。一緒に行こう」とそっと導いたり、お母さんと離れて心細そうにしている子がいると、顔を覗き込むようにして「もうすぐお母さんに会えるよ」と声をかけたりするなど、どこにこんな優しい気持ちが隠れていたのかと思うほど、どの5年生の子供も大人と変わらない心配りをしてしてくれていました。

普段は安心して「子供をやっている」5年生も、他に替わりようのない役割を任せられ、責任ある立場に立たされれば、眠っていた能力が芽を吹き出し、ちゃんと責任を果たしてくれるのです。ただ、私たち側にいる大人が、心配だとか、危険だとか、必要以上に気を回して子供に任せ切れ



ないでいるだけではないでしょうか。もちろん任せる内容によっては、大人のように完璧にはできないことも、物足りないこともあるでしょう。しかし、任せただけからは余程のことがない限りは任せ切らなければならないと思います。途中で心配になって「それじゃだめだ。貸してみられ」などと口を出しては、せっかく吹きかけた自立の芽を、反対にポキリと折ってしまいかねません。

思い切って任せる部分を任せただけ、子供が自分でやらなければならないと思う範囲や、自分でできることを増やしていくのだと思います。

(校長 西元正史)

## 3つの花を咲かせよう

3つの花を咲かせることを目標に、児童会では色々な活動に取り組んでくれています。

ここに安全委員会では、毎朝元気よく挨拶を交わして学校生活を始めるために校門に挨拶ゲートをつくって挨拶運動を行っています。運動委員会は、毎週水曜日の40分間の昼休み「なかよしタイム」に子供同士が楽しく関わって遊ぶことができる遊びを考えてくれています。天気が悪い時にできる室内の遊びも工夫しています。また、保健委員会では、先日の学校保健委員会で教えていただいた姿勢体操を3時間目の前に全校で行っています。給食委員会では、異学年交流の会食を計画しました。

どの活動も、上級生が中心となって下級生に教えたり、一緒に行ったり温かい雰囲気を取り組んだりしています。よき先輩がよき後輩をつくる西部小学校の伝統が根付いているようでした。



## 加湿器が 全教室に入りました



今年度は、インフルエンザの流行が早くなるようです。昨年度に引き続き教育振興会より加湿器を購入していただきました。地域の皆様どうもありがとうございました。

また、今年度はPTAからも不足分を購入していただき、全学級に加湿器を配置することができました。

これからの、インフルエンザの流行時期にうがいや手洗い等の予防と合わせて、湿度の管理に努めながら、児童の健康管理のために有効に活用させていただきます。どうもありがとうございました。



## 学習発表会を行いました

1月5日(土)に学習発表会を行いました。どの学年も、学習した内容を劇や音楽で堂々と表現し、練習の成果を発揮することができました。当日は、多くの来賓の方、地域の方、保護者の方に来ていただきました。子供たちのがんばりを見ていただき、ありがとうございました。



1年生「おむすびころりん」



2年生「きらきらたんけんたい！  
なないろにかがやけ！」



3年生「みんなで奏でよう  
リコーダー」



4年生「よみがえれ！  
わたし達のカエデの木」



5年生「きらめく5年生の  
学習日記」



6年生「The peach boy」